



# 議 会 だ よ り

松 崎

No.120

平成30年7月12日



松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

「三世代交流もち米づくり（桜田区）」

## 《主な内容》

### 第2回定例会（6月5日～6月6日）

平成30年度補正予算 他.....	2
平成29年度企業会計決算.....	3
議員会町内視察.....	4
町政を問う 一般質問に4議員.....	6



# 平成30年6月定例会

平成30年第2回定例会が、6月5日から6日までの2日間で開催されました。

本定例会では、平成30年度補正予算案など9議案について審議を行い、1議案を修正可決、その他は原案どおり可決・認定しました。

## 一般会計補正予算 を修正可決

補正予算(第1号)は、歳入歳出それぞれ2037万7千円を増額するものでしたが、議員5名から桜葉振興に係る企画業務委託費70万円を削除する内容の修正案が提出されました。

桜葉についての現状把握はできており、需要に対し供給が追いつかない状況である。新たな桜葉振興企画を模索するより、生産者やまるけ手の拡大、買取り価格の引上げなどに特化して取り組むことが重要であるとし、採決の結果、全会一致で修正案を可決しました。

りは対象としないのか。  
**答** 企画観光課長 定義として、町内で新たに起業する方、または職種転換する方を対象とする。

社長の交代とか、家業を身内が引き継ぐ場合などは対象とならないが、廃業していた事業所を利用して、再度事業を行う場合は対象としたい。

**問** 空き家改修に対する助成事業として280万円計上されている。地元業者による施工が条件であるが、移住者を迎える目的で、空き家所有者が事前に改修する場合も対象となるのか。

**答** 企画観光課長 この事業は、移住者を呼び込むという目的もある。空き家の所有者が、移住者を受け入れる準備として空き家を改修する。そういった環境整備に使う場合も、当然補助の対象となるが松崎町空き家バンクに登録することを条件とする。

## 税条例の改正

平成30年3月31日、地方税法等の一部を改正する法律が公布、施行されたことから、松崎町税条例についても一部を改正する必要が生じました。

議会を招集するいとまがないため、同日付で「松崎町税条例等の一部を改正する条例」が専決処分されていたものを、今定例会で承認しました。

### ◎主な改正内容

- ・町民税 給与所得控除、公的年金等控除額を10万円減額し、基礎控除を10万円増額。(平成32年度の町民税から適用)
- ・固定資産税 新築住宅に係る減税額措置の適用期間の延長。(平成31年度から2年間延長)
- ・町たばこ税 紙巻たばこの税率の引上げ及び加熱式たばこの税率換算方法の変更。(本年10月1日から段階的に改正)

## 同報無線デジタル化

電波法の改正により、現在使われている同報無線のアナログ波が平成34年11月末で使用できなくなることから、町の同報無線設備をデジタル化するための工事請負契約について承認しました。

- 平成30年度松崎町同報無線デジタル化整備工事
- ・契約の相手方 NEC ネットズエスアイ(株)
- ・工期 平成30年6月7日  
〜平成31年9月30日
- ・契約金額 3億3557万7600円



同報無線親局 (庁舎内)

## 平成29年度 企業会計決算

決算の概要は、広報まつざき7月号をご覧ください。

### 水道事業

総収益は1億4520万1千円で、使用水量の減少などにより前年度比188万6千円の減となりました。

一方、総費用においても職員給与費などの減少により475万5千円減の1億3159万円となり、差し引き純利益は1361万1千円を計上しました。

**問** 営業外収益の受贈財産評価額90万8千円の内容は何か。

**答** 生活環境課長 長期前受金の戻入に伴うもので、量水器、水位計、薬剤ポンプなどがそれに該当する。

**問** 水道橋架替工事で、水道本管が一部新しくなった。補償工事として全て一般会計で負担しているが、その部分は受贈財産として評価額を計上すべきではないか。

**答** 生活環境課長 現時点においては一般会計から移管を受けていない。現在、取扱について内部で検討しており、必要であれば補正予算で対応していく。

**問** 供給単価が153円20銭、給水原価が137円60銭で1㎡当たりの利益が15円60銭。

施設が老朽化し使用量も減少する中で、将来的な料金値上げをどう考えているか。

**答** 町長 他の市町では料金値上げも行っている。まだ具体的に検討しているわけではないが、そういう時になったら皆さんにも協議をお願いする。



### 温泉事業

総収益は6228万6千円で、加入口数や種別の変更などにより前年度比86万2千円の減となりました。

一方、総費用においては職員給与費や減価償却費の増加により135万円増の5171万6千円となり、差し引き純利益は1057万円を計上しました。

**問** 町が管理する源泉が5本あるが、花畑のところにある源泉が一番温度

が高く湧出量も多い。この源泉にかかっている費用はどれ位か。

**答** 生活環境課長 那賀の花畑のところの町営9号源泉は自噴なので、電気料などの費用は特にかかっていない。

### まつざき荘事業

前年度と比べ宿泊客数は減少しましたが、7月から実施している休前日の料金値上げ等により、

事業収益は400万円増の2億8819万6千円となりました。

一方、事業費用においても人件費や修繕費などの増加により425万2千円増の2億8749万4千円となり、差し引き純利益は70万1千円を計上しました。

**問** 過年度未収金の10万2千円は、今後回収できる見込みはあるのか。

**答** 企画観光課長 この過年度未収金は、まつざき

荘を利用した長野県の旅行業者が破産したため、支払いができないということで未収のまま残っているもの。

裁判所へは破産債権届出書を提出し配当を待っていたが、破産管財人からは配当はできないとの説明を受けている。

今後の回収は不可能と思われるので、特別損失の処理を内部で検討している。

**問** 振興公社への委託費の関係で、職員人件費が前年度より620万円増えているとのことだが、昇給によるものか。

**答** 企画観光課長 人件費については給料と賞与からなるが、今回人件費が増えたのは、賞与を0・5月分増やしたことが大きな理由である。



## 工事の効果などをチェック 議員会町内視察

5月21日、議員会は、平成29年度に施工された工事箇所の中から8カ所を選定し、現場視察を実施した。また、30年度に予定している旧依田邸の駐車場整備箇所についても現地確認を行った。

主なものは次のとおり。

も必要と思われる。また、乳幼児は室内を這いずるので、フローリングではなくカーペットなどの柔らかい床材が適していると思われるので、今後検討願いたい。

### ◎児童館移転改修工事 (宮内)

(総事業費1199.1万円)  
今回の整備は、児童館を旧松崎幼稚園に移転するため、内装・電気設備・トイレ・外構の改修工事をそれぞれ工種ごと施工した。

新たに空調機が設置されたほか、床にコルクタイルの貼付けやトイレの改修などが行われた。  
トイレ改修では子ども用の洋式トイレが整備されておらず、躰の面から



改修工事が完了した児童館

### ◎依田家住宅修復工事 (大沢)

(工事費1133.6万円)  
母屋を囲っている「塀」が傾いたため修復したも



依田家「塀」の修復

のであるが、同じ国登録文化財となつている「中門(表門)」でも板塀の一部が腐つて割れている。同様に修理等の対応が必要ではないか。

### ◎水道橋水道・温泉本管 本設工事(道部)

(工事費1101.7万円)  
水道橋架替工事に伴い、橋に添架されていた水道及び温泉管を布設し直したもので、工事中の仮設費用と合わせ約1500万円ほどかかっている。全て一般会計で負担をしているが、部分的に施



水道橋水道・温泉本管布設

設が新しくなり価値も上がっている。企業会計側の負担も必要ではないか。

### ◎岩地津波避難路整備工事(岩地)

(工事費114.8万円)  
地震による津波が発生した際、早急に高台へ避難できるように区からの要望により整備されたもので、海拔10mの高さまで階段や防護柵が設置された。  
いざという時に安全に避難できるよう、除草など日ごろの管理にも努められる。



町道根方線転落防止柵設置

◎町道根方線転落防止柵設置工事(金沢)  
(工事費129.3万円)  
道路からの落差があり危険な箇所、地区からの要望に基づき延長15.4mの転落防止柵を設置した。  
岩科地区では小学生が自転車で道路下に転落する事故も発生している。で、要望がなくとも危険と思われる箇所には、引き続き整備に努めてほしい。

請願・意見書

◎株式会社タカギ所在地の文化財保護法における「史跡名勝天然記念物」指定解除に関する請願

株式会社タカギの本社及び工場のある所在地(道部)が文化財保護法に規定されている「史跡名勝天然記念物」に指定されており、法人としての憲法で認められた人権を侵害しているので、指定解除に関する手続きを所管部署である教育委員会に速やかに行うことを要望する内容の請願。

紹介議員に対する質疑、討論、採決の結果、賛成少数で不採択となったが、請願者のこれまでの心情や事情を考慮すると、議会としても願意に沿った形で、どのように協力できるか考えるべきとの意見も出された。

◎最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡

充を求める意見書

静岡県最低賃金は9年連続で全国平均を下回り、これは大都市への人口流出の要因にもなっている。このため全国一律最低賃金の確立と大幅な引き上げを行い、併せて中小企業に対する賃金助成や税・社会保険料の減免など国の支援策を拡充するよう求めるもの。

◎静岡地方裁判所沼津支部における労働審判の実施を求める意見書

労働審判は、労働者と事業主との間に生じた紛争を裁判所において解決することを目的とした制度である。県内では静岡地方裁判所(静岡市)と同浜松支部でしか取り扱いがされていないことから、同沼津支部においても取り扱いが開始されるよう求めるもの。

全会一致で可決し、国の関係機関に送付した。

第2回定例会の賛否状況一覧

件名	議員						
	深澤守	伴高志	渡辺文彦	藤井要	福本栄一郎	佐藤作行	稲葉昭宏
専決処分の承認を求めることについて(松崎町税条例等の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○
静岡県市町総合事務組合理約の変更について	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度松崎町一般会計補正予算(第1号)について【修正案】	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度松崎町一般会計補正予算(第1号)について【修正部分を除く原案】	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度松崎町水道事業会計収入支出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度松崎町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度松崎町温泉事業会計収入支出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度松崎町温泉事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつぎ荘」事業会計収入支出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度松崎町同報無線デジタル化整備工事請負契約について	○	×	○	○	○	○	○
株式会社タカギ所在地の文化財保護法における「史跡名勝天然記念物」指定解除に関する請願について	×	○	○	×	×	×	×
最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○
静岡地方裁判所沼津支部における労働審判の実施を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○

賛成：○ 反対：×

# 町政を問う

**問**

町政懇談会の意見反映

**答**

内容を整理し対処



藤井 要 議員

**問** 13年ぶりに町政懇談会が開催され、地区ごとそれぞれの意見があり大変参考になったが、寄せられた意見を今後の町政にどの様に反映していくのか。また、今後も開催するののか。

**答** (町長)

町内4地区で延べ164名の参加者があった。ご意見・ご要望は、すぐにできるもの、中長期的な対応が必要なもの、実現困難なものに整理し

対処していく。なお、懇談会については、今後も必ず年1回は開催していく。

**問** 買い物支援状況は

**答** 利用予測を下回る

**問** 買い物支援事業の実証運行が始まったが、6月1日現在の登録者数は。また、2か月を経過した利用状況に問題は出ていないか。

**答** (健康福祉課長)

登録者数は5月25日現在225名で、4月が50件、5月が53件の利用があった。町の補填金額は6万円前後と当初の見込みを下回っている。

1か月間で7往復14回利用した方がいる一方、1回のみ利用者もあり、もう少しばらばら様子を見ていきたい。

**問** 今後のごみ処理は

**答** 他市町の状況を見て

**問** 3市町による広域ごみ処理事業について、6月末までに結論を出すとしている。広域又は単独で行うにしても人口減少のなか非常に厳しいと思うが、今後の考え方は。

**答** (町長)

他市町の状況を確認しながら、広域化による経費の削減や住民サービスの維持について慎重に精査している。1市2町の広域化が見直しになる

ような場合においては、さまざまな可能性について検証が必要と考える。

**問** 花畑継続に支援は

**答** 住民活動を応援する

**問** 那賀の花畑が費用対効果の面で休止の方向性だが、観光客からは継続を望む声も聴く。

そんな中、町内の有志により花畑を継続させる取り組みが始まった。町民が町のために立ち上がった

たのなら町も応援するべきと考えるがどうか。

**答** (町長)

花畑は、5月5日までの期間中6万6千人余の来場者があった。今後花畑をやらないということではなく、事業効果や実施方法の検証が必要と考えた。

継続実施に住民有志が立ち上がり大変うれしく感じているので、組織を運営する皆さんと話し合いをしながら、必要に応じて支援を検討していく。



町政懇談会の様子 (旧中川小)





桜田の休耕地（桜葉圃場予定地）



渡辺 文彦 議員

## 問 総合戦略の目標達成度は

答 現状では不十分な点もある

**問** 人口減少対策として取り組んでいる総合戦略は目標値に達しているか。

**答**（町長）

現時点における人口推移から見ると必ずしも対策が機能しているとは言えないが、人口減少を抑制するために、移住定住対策、独自の子育て支援などを実施するとともに、桜葉産業の振興を図り、担い手の確保に努める。また、今後は、起業支援、空き家対策に補助金を出していきたい。

**問** 総合戦略検討委員会の開催にあたり、事前に資料が配布されていなかったが、この状態で会議で十分な審議は可能と考えるか。

**答**（町長）

委員の方が十分な審議を行なうには資料の事前配布は必要不可欠である。今後は、この委員会に限らず会議資料は内容に応じて事前配布に努める。

**問** 直売所の収支見込みは

**答** 現時点では不明

**問** 町政懇談会にて三聖苑に計画予定の直売所の設置にあたり、費用対効果を問う声があり、それに対し町長は失敗するようない言わねえと言われたが、その根拠は。

**答**（町長）

現在、直売所の経営システムを検討しているため現時点で具体的な収支の見通しをするのは難しいが、事業を進める以上は成功に向けて全力で取り組みたい。

**問** 直売所を設置し物価を下げたいと言われたが、その効果は。

**答**（町長）

松崎の一人あたりの所得は県内でも下位にある。直売所をつくり、生産者の所得向上に、消費者には可処分所得を増やすことにつながればと考えている。

**問** 桜葉振興の目標設定を

**答** 現状を正確に把握して

**問** 補正で130万円の桜葉振興費を計上しているが、計画に目標値を設定する必要があると思うが。

**答**（町長）

桜葉産業は十分把握されていない部分があるので、将来の目標を定めるうえでも現状を正確に把握する必要がある。そのうえで目標値を設定する。

**問** 圃場整備費30万円は、どれだけの面積を確保するのか。

**答**（統括課長）

今回の30万円の圃場整備費は、桜田にある休耕地を利用して支援学校の子どもたちの就労支援を目的に措置した。一般の方を含めた事業展開は様子を見ながら進めたい。

**問** 花畑事業の継続は

**答** 行政、住民、事業者で



伴 高志 議員

**問** 花畑事業は直接の経済波及効果はやや少なくなっているかもしれないが、松崎町では最も集客力がある観光事業ではないか。それを一方的に中止にするべきではないと考えるがどうか。

**答** (町長)

花畑の予算計上を見送った理由は主に2つある。1点目は平成12年度から18年間継続し、毎年700万円余りの費用がかかっているが、これに

ているので、花畑を行政、住民、事業者が一体となつて協働で進めていく新たなスタートにできればと考えている。

今後、花畑実行委員会の皆さんとも話し合い、必要に応じて支援を考えていきたい。

**問** 桜葉産業担い手は

**答** 全体を把握し協働

**問** 次の世代へ続く担い手確保の対策は。

**答** (町長)

担い手を確保するためには、単に耕作する農地を提供するだけでなく、桜葉産業全体を把握したうえで、種子、肥料、防疫、収穫、まるけ、加工、流通、経営など多岐にわたる調整、研究が必要で、町、桜葉振興会、漬け元農協、その他の団体などが一体となって取り組む必要がある。

**問** 児童館休日営業は

**答** 運営委員会で検討

**問** 松崎町は観光地なので、観光に携わる若い世代のために児童館の休日、祝日営業を考えることはできないか。

**答** (町長)

現行の児童館休館日は、日曜日、祝日、年末年始となっている。かつて日曜日も開館していたが、

利用者が少なかったことなどから現在の形になったようである。

しかしながら、先に開催された町政懇談会において、児童館の休日開館を求める意見もあったことから、今後は保護者や児童館運営委員会での意見を聞きながら、休日開館について検討していきたい。



今年の花畑の様子





修善寺行きバス



福本栄一郎 議員

**問** 順天堂病院行きバスの状況は

**答** 松崎町民は ごくわずか

**問** 本年4月25日から10月31日まで、修善寺駅から順天堂病院までの区間において直通バス運行社会実験が行われている。

1か月が経過したが、松崎町民の利用状況は、

**答** (町長)

修善寺駅からバスに乗った松崎町民の利用者は、アンケートをとった5日間では3人となっている。

**問** 帰りの病院発、修善寺駅行き、12時10分と12時35分は診察の関係上、乗車が困難と思うが、乗車できなかった場合の対策は、

**答** (町長) 病院側に帰りのバスに間に合うように要望を出している。乗車できなかった場合は、従来の交通路線を利用していただく。

**問** 事業廃止時の対応は

**答** 現時点では未定

**問** 利用者が少ないため

直通バス運行事業が打ち切られた場合、町が単独で実施していくのか。

町長の公約や松崎町第5次総合計画(後期基本計画)に示してある乗り換えなしの松崎からの直通バスの運行は、

**答** (町長)

11以降の継続については、現時点では決めていない。

バス運行が廃止となった場合の松崎からの直通バスについては、町として運行方法や費用などを検討していく。

**問** 紹介状なしで大病院を受診すると初診時5千円以上、再診時2千5百円以上の別途負担が義務化された。国では近くの「かかりつけ医」、「家庭医」と呼びかけているが、なぜ遠距離の順天堂病院にバスを出すのか。

**答** (町長) 町としては、通院を勧めている訳ではないが、交通手段に困っている町民が大勢いるので、修善寺駅からの直通バスを実験運行している。

**問** 遠距離の大病院よりも、賀茂地域1市5町で組織・設立している「下田メディカルセンター」へ通院する利便性の向上や受診科目の充実を図り、地域住民のニーズに応えるべきではないのか。

**答** (町長) ご質問の内容につきましては、当組合議会の中で協議しているの、町としての考えは差し控えてさせていただきます。

**問** 診療所誘致は

**答** 旧岩科幼で協議中

**問** 選挙公約で掲げた旧岩科小学校跡地への診療所誘致の状況は、

**答** (町長)

旧岩科幼稚園の施設を活用すべく協議を進めている。一方、医師の確保にも努めている。

次の定例会は、9月4日(火)からの予定です。

## 議会のうごき

### 4月

- 12・19日 広報編集委員会
- 20日 伊豆縦貫自動車道天城峠道路・アクセス道路要望活動(東京都)
- 25日 伊豆縦貫自動車道天城峠道路・アクセス道路要望活動(名古屋市)
- 26日 議会だより119号発行

### 5月

- 10日 西豆自治会総会
- 18日 議会全員協議会  
賀茂郡町議会議長会(南伊豆町)
- 21日 議員会町内視察
- 28日 全国町村議会正副議長研修会(東京都)
- 29日 議会運営委員会・広報編集委員会
- 31日 静岡県地方議会連絡協議会総会及び研修会(静岡市)  
伊豆縦貫自動車道天城峠道路・アクセス道路建設促進同盟会総会(河津町)

### 6月

- 5～6日 第2回定例会
- 7日 静岡県町村議会議長会総会(静岡市)
- 14日 伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会要望活動(東京都)
- 28日 伊豆縦貫自動車道建設状況視察(伊豆市、河津町)

表紙の写真「三世代交流もち米づくり(桜田区)」は文化協会写真部より提供。

#### 発行責任者

議長 土屋清武

#### 編集委員長

藤井 要

#### 編集委員

深澤 守  
伴 高志  
渡辺 文彦  
福本 栄一郎  
佐藤 作行  
稲葉 昭宏

## この人に 聞きました⑰ 児童館 利用者



町内で活動している皆さんを紹介するコーナーです。今回も、児童館を利用しているお母さん方にお話を伺いました。

松崎町にどのような印象がありますか。

自然が豊かなので、常に自然の中で生活しているような気がします。子供たちは、海・川・山を満喫しています。自然の中で遊び生活する事で子供たちは、いろいろな事

を学び感じ取っていると  
思います。

松崎町にしてほしい事は  
ありますか。

自然が多い反面、整備が不十分で危険な所もあり、親が安心して子供を遊ばせられる環境整備が少し足りないかなと感じています。通学路に街灯が少ない事や、天気悪い日でも遊べる室内の遊び場や子供たちだけでも安心して遊べる整備され

た公園が少ない気がしま  
す。

公民館などがお年寄りや子供たちが自然に集って遊べる三世代交流の場になれば、低学年の子供が学校から帰って、一人で留守番みたいな事がなくなつて遅くまで働く人でも安心して育児ができるようになると思います。  
(聞き手 編集委員長)

## 海鳴り

昨年の伊豆半島への観光流動人口は、前年と比べ東海岸は増加したが西海岸は減少とのこと。今定例会に上程された各企業会計決算は、これを裏付ける結果となっている。

伊豆まつぎ荘では、宿泊人員は減少したが、料金改定等により僅かではあるが黒字となった。水道、温泉事業も黒字を維持しているものの、それぞれ使用水量は減少している。

当町は観光が主要産業であることから、誘客活動は重要なことと考えるが、誘客事業の一環であった花畑は中止となり、代わって町内有志により規模を縮小して行われると聞く。

また、海の県道として重要な観光ルートである駿河湾フェリーが、来年3月末での事業撤退を発表するなど、観光を取り巻く環境は厳しさを増しているが、議会としてもフェリー存続や縦貫道建設促進に向けた活動に積極的に取り組んでいく。

(議長)